

豊浦町立小中学校耐震診断結果について

学校名	建物区分	構造	階数	建築年	新耐震基準	耐震（2次）診断結果（最低値）		備考
						IS値	CTU×SD値（q値）	
豊浦小学校	校舎	RC	3	S48	—	0.46	0.51	H22耐震化済
	屋体	S	1	S48	—	0.38	1.17	H22耐震化済
大岸小学校	校舎	RC	2	S51	—	0.65	0.66	耐震補強必要なし
	屋体	S	1	S52	—	0.33	1.01	H21耐震化済
礼文華小学校	校舎	RC	2	S53	—	0.76	0.36	耐震補強必要なし
	屋体	S	1	S54	—	0.41	1.26	H21耐震化済
大和小学校	校舎	RC	1	S60	○	—	—	耐震補強必要なし
	屋体	S	1	S60	○	—	—	耐震補強必要なし
豊浦中学校	校舎	RC	2	S51	—	—	—	H10耐震化済
	屋体	S	1	S54	—	0.48	1.47	H22耐震化済
	格技場	S	1	S40	—	—	—	H22解体済

●IS値の目安（平成18年1月25日 国土交通省告示第184号）

- IS < 0.3 大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い
 - 0.3 ≤ IS < 0.6 大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性がある
 - 0.6 ≤ IS 大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性が低い
- ※「大規模な地震」とは、震度6強程度の大規模地震

●CTU×SD値の目安

RC造の耐震診断時に算出される指標であり、IS値が0.6以上でCTU×SD値が0.3以上あれば危険性は低いと判断されますが、IS値が0.6以上でもCTU×SD値が0.3未満である場合は、危険性があると判断されます。

●q値の目安

1.0以上の場合、倒壊又は崩壊する危険性が低い。

（用語について）

●耐震診断とは地震に対する安全性を評価することです。

●構造

RC造：鉄筋コンクリート造 S造：鉄骨造

●2次診断（詳細）とは、柱や壁の強度や建物の粘り強さなどから、耐震性を算出します。（1次診断（簡易）とは、柱と壁の量から、強度を算出します）

●IS値とは、地震力に対する建物の強度や粘り強さなどにより耐震性能を表す指標で、この数値が高いほど耐震性能が表す指標で、この数値が高いほど耐震性能が高いこととなります。

●CTU×SD値、q値とは、地震における水平方向にかかる力への建物の強度を示す数値で、CTU×SD値が鉄筋コンクリート造、q値が鉄鋼造の強度を示し、数値が大きいほど強度が高いこととなります。

●新耐震基準とは、昭和56年6月1日以降に建築されたもので、耐震基準を満たしているため、耐震診断の必要はありません。